



## 関東甲信越ブロック



発行人  
関東甲信越ブロック支部長  
高柳 亮

### ニュースレター No.17 (2017.06)

#### 1. 議員総会開催

関東甲信越ブロック支部支部長 高柳亮

去る5月14日、学術大会開催中の高松におきまして、平成29年度第一回関東甲信越ブロック支部議員総会が開催されました。289名の代議員のうち、58名のみなさんにご出席いただき、委任状148名と合わせて206名をもち総会は成立いたしました。総会では、選出された石橋幸滋議長に議事を進めていただきました。

まず平成28年度の地方会(群馬)、ブロック直接補助活動、各都県支部活動ならびに決算報告についてご承認いただきました。その後、平成29年度の地方会、事業計画、予算案に関してご議論いただきました。11月19日(日)に大宮ソニックシティで開催される第6回地方会につきましては、埼玉県支部の中根支部長と、石田大会事務局長から、準備の進捗状況が報告されました。ご発言から本地方会への意気込みが伝わってまいりました。また本年度からブロック支部単位で新専攻医オリエンテーションを開催する準備が進められており、関東甲信越でも7月1日に開催されることが報告されました。事業計画、予算案では、今年度も地方会に助成を行うこと、ブロック直接補助活動を募集(別記)すること、あわせて平成30年度からは、直接補助活動の募集次期を早めることについてご承認いただきました。また平成30年度地方会についても、開催候補地から積極的なご発言をいただきました。お忙しい中ご参加いただきました代議員のみなさん、大変ありがとうございました。

#### 2. 平成29年度 関東甲信越ブロック直接補助活動の募集について

本年度もブロック内のさまざまな活動に対しての補助を考えています。

応募の条件は①都県を超えたメンバーによる横断的活動、②地域のプライマリ・ケア領域の発展に寄与する多職種活動  
上記いずれかで、都県支部からの補助が得られない活動に対して補助を行います。

例年1件あたり10万円で2~3件に補助金が支払われてきましたが、昨年度より補助金の額は15万円×3件で、採択については11月の議員総会で決定されます。

補助金を申請される都県支部(もしくは個人・団体)の代表者(学会員に限る)は、本ニュースレター最終頁に記載した活動計画書を、日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部事務局(E-mail: pckk@issjp.com)宛てにお送り下さい。(ファイルが必要な場合もメールでお知らせ下さい)。

**締め切り：平成29年10月16日(月)**

#### 3. 各都県支部からの報告

【神奈川県支部活動報告】 神奈川支部幹事 土田知也(聖マリアンナ医科大学 川崎市立多摩病院 総合診療内科)

2017年4月22日(土)、第97回日本プライマリ・ケア連合学会学術集会在神奈川県総合医療会館で開催された。今回のテーマは【多職種連携で解決!地域で診る嚥下障害】。医師、薬剤師、看護師、歯科医師、歯科衛生士、介護福祉士含め40名の参加となった。それぞれ4人チームに分かれ、ワークショップ形式で会が進行。松田隆秀会長から開式のことばがあり、嚥下障害を疑うときはどういふときか?という議題がだされ、各チームより発表があった。教育講演1は聖マリアンナ医科大学神経内科櫻井謙三医師。【嚥下障害とは一神経内科医からの視点】という題名で行われた。勤務先の川崎市立多摩病院入

院症例では低栄養の患者は死亡率が高いという自験例の報告があり嚥下障害は低栄養の入り口であり、重要なテーマであるということ、また嚥下障害を疑うのは 唾液貯留、流涎、口腔内汚染、むせこみ、嚥下困難感、咽喉頭の異常感覚、湿性嘔声、体重減少であること、嚥下の時期に応じた問題点とそれぞれの対応方法について、嚥下スクリーニングテストや多摩病院での嚥下評価入院についても取り上げられた。また、サルコペニア、オーラルフレイルについてもふれられた。教育講演 2 は川崎市立多摩病院水野紗里江言語聴覚士。とろみのつけ方、食事介助の方法についてのレクチャー、実際にお茶にとろみを混ぜての試飲、ゼリー食の試食も行われ、参加者は嚥下食の実体験をすることができた。教育講演 3 は大洋歯科クリニック蕭敬意歯科医師。咬合について、歯科医師の視点からの V E, 医科歯科連携の重要性について、歯の喪失がオーラルフレイルの始まりであり、喪失しないよう齲蝕の早期発見治療の重要性が示された。その後、教育講演の内容もふまえ、嚥下障害のある高齢者の介護について、よりよい方法方略を検討するというテーマで 2 回目のワークを行い、介護保険の利用、娘への指導含め、これまでの教育講演内容をふまえて、まさに地域での嚥下障害の対応について各チーム深い議論がなされた。最期に、副会長の山本晴章医師より閉式のことばがあり閉式となった。次回は 2017 年 6 月 24 日 (土)、ポリファーマシーをテーマとした、勉強会の開催を神奈川県総合医療会館で予定している。

【埼玉県支部活動報告】

2017.11.19「関東甲信越ブロック地方会@さいたま」に向けて 第一報

日本プライマリ・ケア連合学会 埼玉支部長 中根晴幸 (明医研ハーモニークリニック院長)

会員の皆さま

5 月 13、14 日の高松での熱気あふれる第 8 回学術大会で大いに刺激を受け、埼玉支部の運営メンバーもボルテージが上がっています。既報の通り、私ども埼玉支部が開催当番となって今年 11 月 19 日 (日) に大宮ソニックシティで予定されている第 6 回関東甲信越ブロック地方会の準備がその後、順調に進展している現状をお知らせします。

メインテーマである「高価値なプライマリ・ケアを目指して」を掲げたイメージポスターを高松でも報告させていただきましたが、さらに、若手スタッフを中心とした各企画の担当チームが期日に向けて秒読みで詳細内容の準備を進めている段階です。

プライマリ・ケア連合学会として新たに組織されてからは埼玉では初めての地方会であり、関連団体の関心も高く、すでに地域医師会、看護協会、薬剤師会、歯科医師会などからも後援表明をいただいております、盛会となることを期待されています。

現段階での企画内容は下記のとおりです。本欄ニュースレターのサイクルでは 6 月の次が 9 月の報告となりますが、ポスターの演題募集、ワークショップへの参加申し込みは 7 月以降に詳細をご連絡するように致します。新しいステップに向かっての思いを込めたメインテーマ「高価値なプライマリ・ケア」に向かっての体験を全員で共有しましょう。

メインテーマ「高価値なプライマリ・ケアを目指して」  
**第6回 日本プライマリ・ケア連合学会  
 関東甲信越ブロック地方会@埼玉**

会期 2017年11月19日(日)  
 会場 大宮ソニックシティ  
 大会長 自治医科大学附属さいたま医療センター  
 センター長 百村伸一

特別講演 国立長寿医療研究センター 理事長  
 鳥羽研二先生

教育講演 神戸大学名誉教授 (前 付属病院薬剤部長)  
 平井みどり先生

教育講演 おおい町国保名田庄診療所 所長  
 中村伸一先生

\* ワークショップ ポスター発表 各種企画を予定しています

【お問い合わせ先】  
 第6回日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック地方会事務局  
 〒331-0054 さいたま市西区島根299-1 さいたま市民医療センター内科  
 TEL:048-626-0011 FAX:048-799-5146  
 事務局長: 石田岳史

記

第 6 回日本プライマリ・ケア連合学会「関東甲信越ブロック地方会@埼玉」企画 第 1 報

- メインテーマ 「高価値なプライマリ・ケアを目指して」
- 会 期 2017 年 11 月 19 日 (日) 9 時より
- 会 場 大宮ソニックシティ (国際会議場、市民ホールなど 6 会場)  
 〒330-8669 埼玉県さいたま市大宮区桜木町 1-7-5 TEL : 048-647-4111
- 大会長 自治医科大学附属埼玉医療センター センター長 百村伸一
- 主 催 日本プライマリ・ケア連合学会埼玉支部
- 共 催 埼玉県医師会 埼玉県歯科医師会 埼玉県薬剤師会 埼玉県看護協会 さいたま市医師会
- 特別講演 「高齢者医療と CGA」(仮題) 国立長寿医療研究センター理事長 鳥羽研二先生
- 会長講演 「高齢者の心不全」(仮題) 自治医科大学附属さいたま医療センター 百村伸一先生

教育講演1 「ポリファーマシーをめぐって」(仮題) 神戸大学医学部名誉教授 前付属病院薬剤部長 平井みどり先生  
教育講演2 「診療所が関わる研修医教育」(仮題) おおい町国保名田庄診療所 所長 中村伸一先生  
教育講演3 「健康長寿と口腔ケア」(仮題) 埼玉県歯科医師会 常務理事 地域保健部長 深井穂博先生  
シンポジウム ①「地域に求められる在宅医療」(仮題) 小ホール  
②「心不全に関わる地域多職種連携」(仮題) 市民ホール  
ポスター発表、ポートフォリオ大会、ランチョンセミナー 4会場  
ワークショップ 90-120分企画 (タイトルは仮題)  
①ポケットエコーのフル活用、②トリアージ・タグの実践、③プライマリ・ケアに関わるクリニカルパール、  
④心電図モニターの安全管理、⑤ 認知症とポリファーマシー  
学会事務局 さいたま市民医療センター 事務局長 石田岳史 (医療センター 副院長)  
〒331-0054 埼玉県さいたま市西区島根 299-1 TEL 048-626-0011 FAX 048-799-5146 E-mail [ishi-ind@umin.ac.jp](mailto:ishi-ind@umin.ac.jp)

#### 4. 平成 28 年度 関東甲信越ブロック直接補助活動報告

カトリア外来塾 平成 28 年度活動報告 代表者:河合 由紀 (曙光会 コンフォガーデンクリニック 医師)  
鈴木 佳奈子(4UrSMILE・家庭支援協会)  
鈴木 比有万 (エトワール会 たんぼぼクリニック 医師)  
フラワープロジェクトサポーター:森屋 淳子 (医療福祉生協連家庭医療学  
開発センター/川崎医療生協 久地診療所 医師)

カトリア外来塾は、休職経験をもつ人たちを中心とし、託児付きの勉強会を月一回開催しています。(H23 年発足)  
今回関東甲信越ブロックより、カトリア外来塾フラワープロジェクトについて直接活動補助費を頂きましたので、以下に活動報告いたします。

【 H28 年度の実績 】

① 定例会:開催数 9回/年 総参加者数 計 70名

日時:各月下旬の土/日曜 午後3時間 場所:東京都新宿区 個人宅(別室託児) 参加費:千円

内容:振り返り4回 (各シーズンに一回、プライベートと仕事のそれぞれについて振り返る。no blame)

シェア大会3回(各自参加したセミナーや勉強会の要旨を、発表し共有。予演会、学会発表の相談等も)

講師招聘 1回 夏期セミナー準備会 1回

② 学生・研修医のための家庭医療学夏期セミナー にてワークショップ開催 (3回目)

WS名:カトリア外来塾式人生シュミレーションゲームβ~人生の岐路で気づきを得るには?聞いて話そう将来のこと~ 参加者  
30名満席、講師/共同講師として11名で実施(WS参加の他、宿泊交流の意義もあり)

③カトリア外来塾のような会を、地域で開催したいという取り組みへの支援 開始:フラワープロジェクト

・カトリア参加経験者に、ニーズ・参加継続要因・中断要因・改善点等について

web アンケート実施【回答数 18 回収率 64.3%】

・開催希望者に、どのような支援が望まれるかニーズ聴き取り(web会議)

→アンケート結果から得た知見を含め、開催に必要な要件を紹介

・開催希望者による見学(随時受付中):唐津市民病院 きたはた 大野每子先生

最後になりますが、この6年間の参加者の皆さま、講師としてお越し下さった先生方に、この場をお借りして深く御礼申し上げます。また、ご自身の地域でもこのような会を開催したい方がいらっしゃいましたら、ぜひご連絡下さい!

関東甲信越ブロックでは、ニュースレターにてブロック会員の皆様の活動報告なども掲載する予定です。掲載希望の方は以下メールアドレスまでご連絡いただければと思います。

日本プライマリ・ケア連合学会 関東甲信越ブロック支部 事務局 [kanto\\_koshinetsu@primary-care.or.jp](mailto:kanto_koshinetsu@primary-care.or.jp)

平成 29 年度活動計画書(様式)

1. 活動名称
2. 個人・団体名・支部名など
3. 代表者の会員番号・勤務地・役職・氏名
4. 代表者連絡先(電話・FAX・E-mail)
5. 活動期日(もしくは期間)
6. 活動の概要説明  
(活動の目的・意義・方法等の他、人的資源・資金・必要物品等、予算根拠となる事項についても御記載下さい)

7. 予算計画

収入	金額(円)	備考
日本プライマリ・ケア連合学会関東甲信越ブロック支部		
(他の収入を記載)		
(他の収入を記載)		
計		

支出	金額(円)	備考
(細目を記載 例:会場費等)		
(細目を記載 例:通信費等)		
(細目を記載 例:広報費等)		
(細目を記載 例:会議費等)		
(細目を記載 例:旅費等)		
(細目を記載 例:消耗品費等)		
計		

- 各都県支部にはこの活動費とは別に、上限一律の活動費補助(15万円)が計上され、そちらは活動計画書の提出は必要ありません。都県支部の基礎的活動費を申請しないようお願いいたします。
- 活動計画は、それを承認する「議員総会」でご説明いただく必要があります。代表者(または代理)の方は必ず「議員総会」にご出席いただきますようお願いいたします。
- 決められた額を超えない範囲での実績に対する補助となります。
- 補助を受けた活動は翌年度の「議員総会」等で報告をしていただきます。

以上